



株式会社 筈川組

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年9月26日～2024年9月25日)



発行日 2024年10月17日
発行責任者 村田真朗

認証番号 0008895



目次

- 1.組織の概要と認証・登録範囲
- 2.環境経営方針
- 3.主な環境負荷の実績
- 4.エコアクション21実施体制組織図
- 5.環境経営目標とその実績
- 6.環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、
次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- 7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無
- 8.代表者による全体の評価と見直し・指示結果

報告要件

報告対象期間

2023年(令和5年)9月26日～2024年(令和6年)9月25日

報告対象組織

環境マネジメントシステムを構築している

本社及び京都支店、湖南営業所、荒張作業所の環境取組を対象とする。

1 組織の概要と認証・登録範囲

事業者名



株式会社 笹川組

事業概要

会社概要

設立 昭和27年4月
資本金 1億円
代表者 取締役社長 高田盛介
従業員数 61名(令和6年9月現在)
本社所在地 滋賀県大津市打出浜13番15号

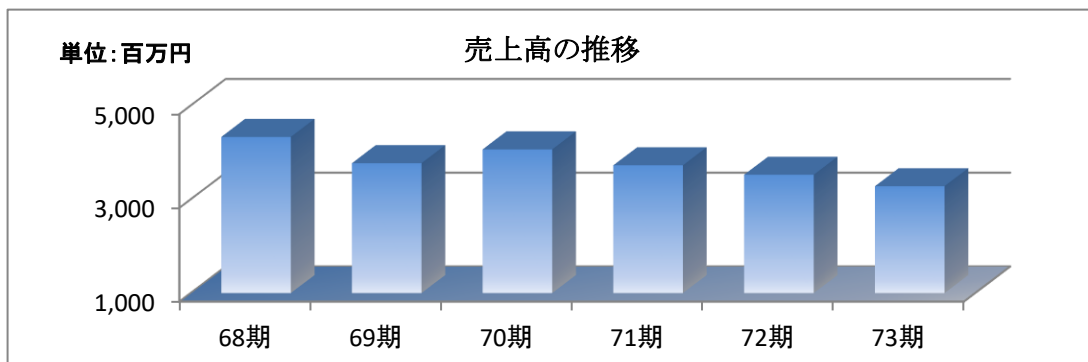
事業活動

- ◆土木工事
- ◆上下水道工事
- ◆建築工事
- ◆解体工事

事業の規模と事業年度

単位:百万円

68期 平成30年9月26日 ～令和元年9月25日	69期 令和元年9月26日 ～令和2年9月25日	70期 令和2年9月26日 ～令和3年9月25日	71期 令和3年9月26日 ～令和4年9月25日	72期 令和4年9月26日 ～令和5年9月25日	73期 令和5年9月26日 ～令和6年9月25日
4,330	3,770	4,064	3,725	3,524	3,278



環境管理関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者

営業部長:村田真朗

連絡先: 077-523-2314

連絡担当者

事務局:酒井 洋

連絡先: 077-523-2314

許認可

建設業許可

国土交通省 許可 特3-464号

品質管理ISO9001

審査機関: ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

認定機関: JAB(日本適合性認定協会)

エコアクション21

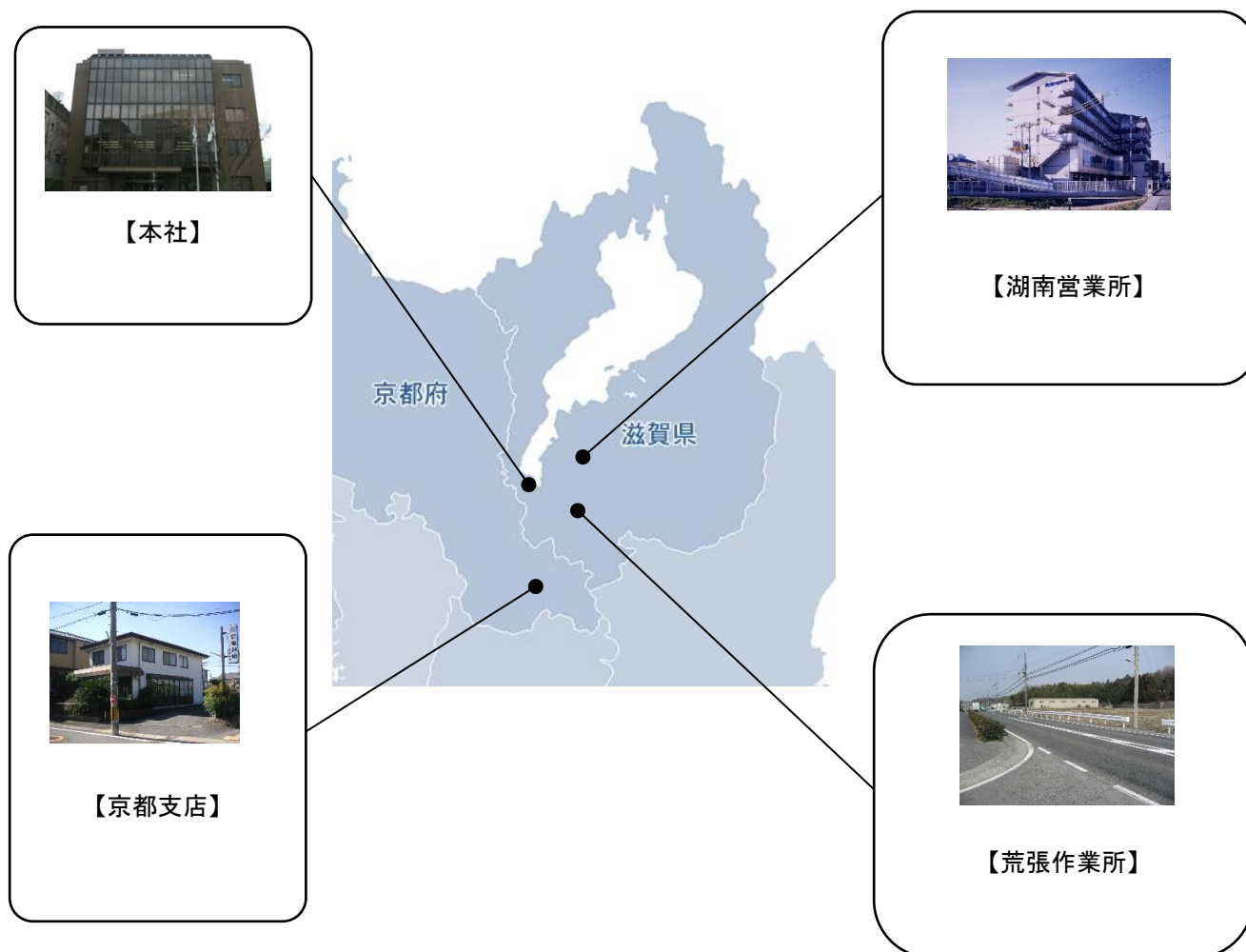
認定番号: JA0285-24Q-1

認証・登録番号:0008895

担当事務局:エコアクション21地域事務局 大阪

所在地及び支店

本社 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜13番15号
 京都支店 〒610-0111 京都府城陽市富野森山14番地の2
 湖南営業所 〒520-3035 滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号(ESPO栗東内)
 荒張作業所 〒520-3003 滋賀県栗東市荒張2027



事業組織

面積：㎡	本社	京都支店	湖南営業所	荒張作業所
事務所床面積	2,512.57	153.09	25.38	99.37
倉庫床面積	-	-	-	654.48
駐車場面積	996.00	547.84	786.75	-
資機材置場面積	-	-	-	4,873.00
認証・登録	○	○	○	○

【株式会社 笹川組 本社】

郵便番号: 520-0806

住 所: 滋賀県大津市打出浜13番15号

交通手段: 京阪電気鉄道石山坂本線石場駅より徒歩で5分

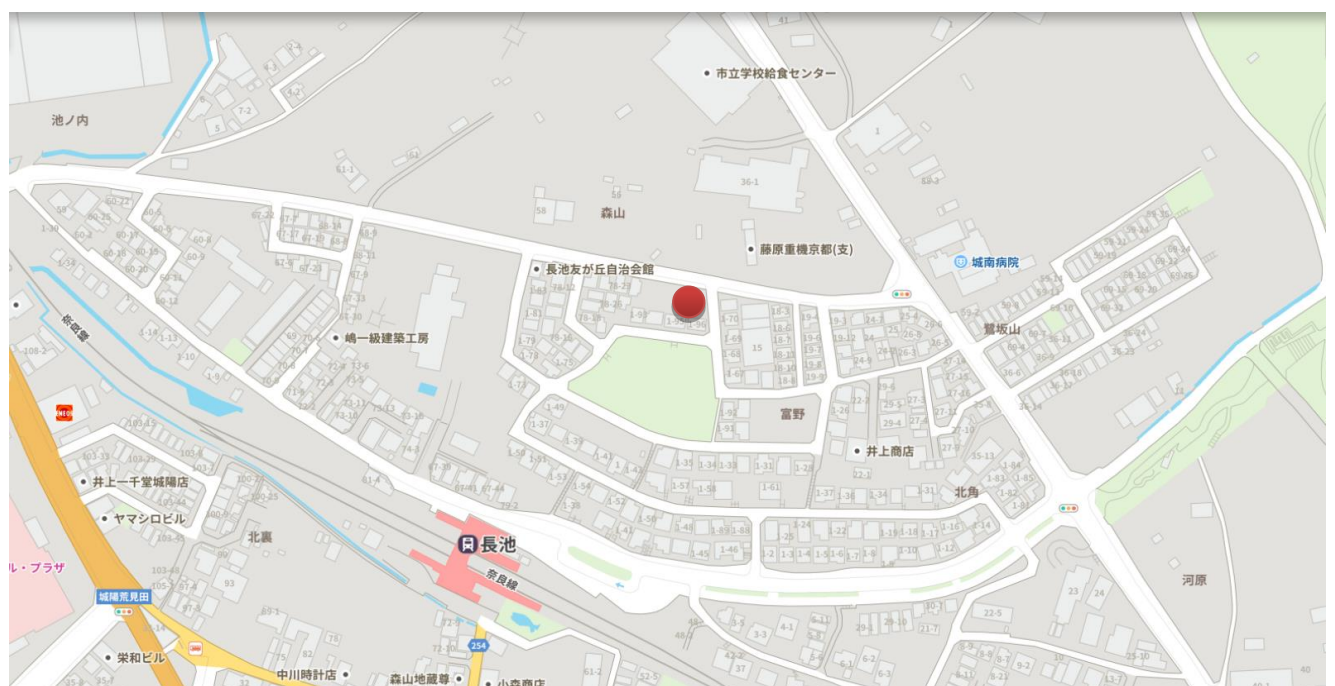


【株式会社 笹川組 京都支店】

郵便番号: 610-0111

住 所: 京都府城陽市富野森山14番地の2

交通手段: JR奈良線長池駅より徒歩で10分



【株式会社 笹川組 湖南営業所】

郵便番号:520-3035

住 所:滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号

交通手段:JR東海道本線栗東駅より徒歩で8分



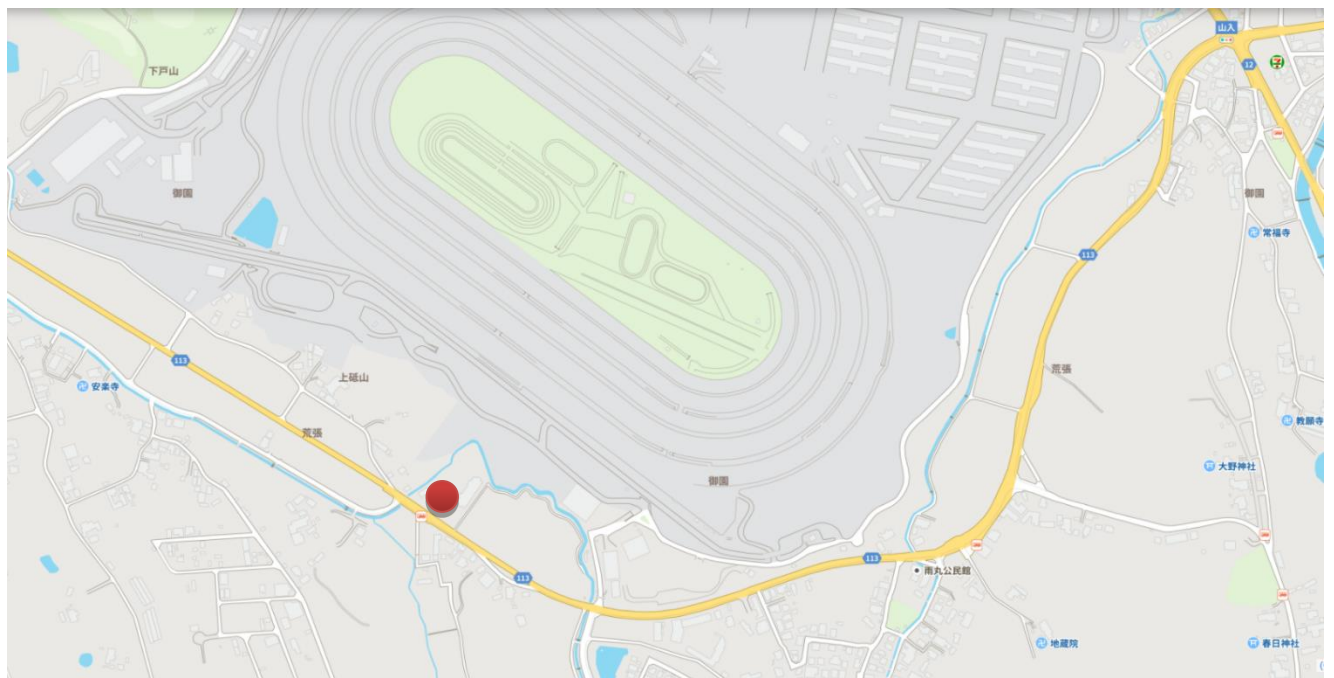
【株式会社 笹川組 荒張作業所】

郵便番号:520-3003

住 所:滋賀県栗東市荒張字上長野2027

交通手段:JR東海道本線栗東駅より帝産湖南交通コミュニティセンター金勝

帝産湖南交通コミュニティセンター金勝よりくりちゃんバス治田金勝線美之郷停留所より徒歩で1分



環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、琵琶湖を望み水環境への心遣いと共に歩んできた。一方では建設事業を通じて社会資本の充実に寄与し社会の付託に応えてきたが、それに伴い大きな環境負荷も同時に発することになった。ここに今日の地球環境問題の深刻さをみる時、環境負荷の継続的な削減に取り組む必要を痛感し、社員一同ここに以下の方針の下、取り組むことを誓約するものである。

1. 環境関連法規等を遵守する。
2. 建設事業の企画、設計、施工、維持管理の各段階で例外なく省エネルギー、CO₂削減、既存建物の有効再利用等、提案、実行します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ グリーン購入の拡大を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
 - ☆ IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます。
 - ☆ ZEB建築物の普及への取組みを推進する。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底する。

2023年9月26日



琵琶 笹川組

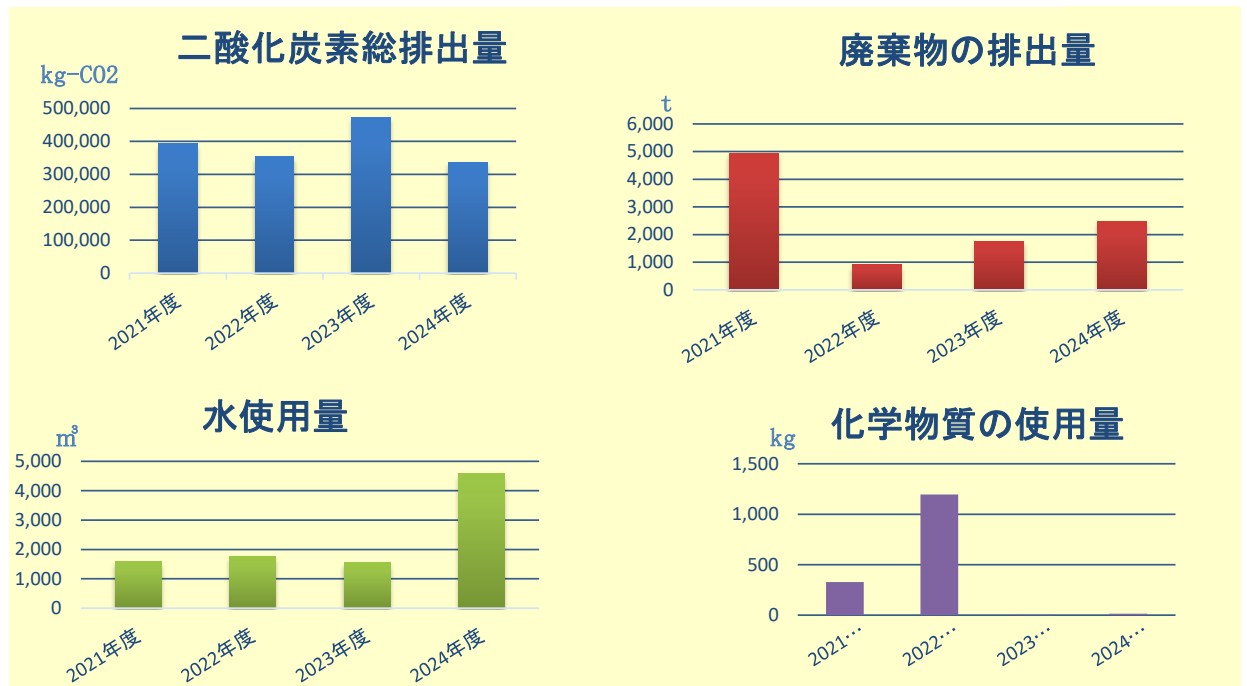
取締役社長

高田盛介

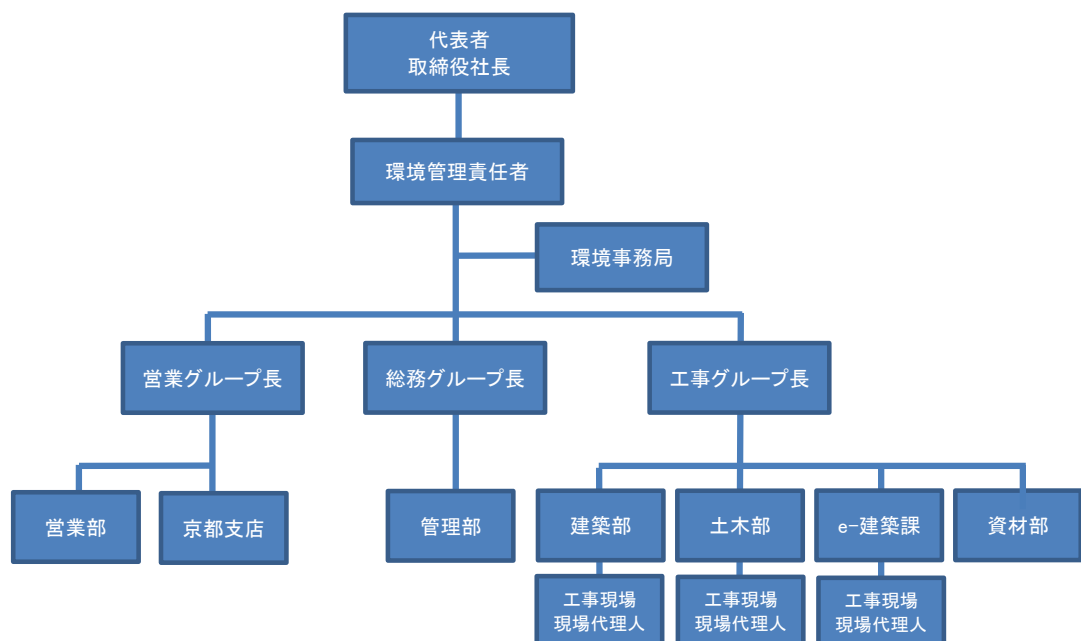
3 主な環境負荷の実績

項目	単位\年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	393, 202	353, 344	473, 308	336, 594
廃棄物の排出量	トン	4, 941	908	1, 753	2, 483
水使用量	m ³	1, 585	1, 766	1, 545	4, 570
化学物質の使用量	kg	328	1, 196	4	15

※二酸化炭素総排出量には、都市ガス、液化石油ガスCO₂排出量（kg-CO₂）を含む



4 エコアクション21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境方針の下、環境目標の達成に向けて、環境活動計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
取締役社長	①代表者による経営における課題とチャンスの取りまとめ
	②環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	③環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。
	(資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	④環境管理責任者を任命する。
	⑤環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑥代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
グループ長	①自部門における環境方針の周知
	②自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	③自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	④特定された項目の手順書作成及び運用管理
	⑤自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、試行、訓練を実施、記録の作成
	⑥自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。

5 環境経営目標とその実績

2019年10月～2022年9月の実績を把握し、その3ヶ年平均を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、2022年10月より環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2024年度（2023年10月から2024年9月）までの運用実績について取りまとめました

【全社】

取組年

中長期目標

方針	取組項目 CO ₂ 排出量係数	年度 単位	基準年	2023年		2024年		2025年	
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
事務所で電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ 排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ 0.35 kg-CO ₂ /kWh	%	100.0%	99.0%	99.3%	98.0%	100.1%	97.0%	
		消費量	104,602.0	103,556.0	103,893.0	102,510.0	104,736.0	101,463.9	
		(kg-CO ₂)	36,610.7	36,244.6	36,362.6	35,878.5	36,657.6	35,512.4	
	太陽光発電の実績 (kWh) -0.35 kg-CO ₂ /kWh	%	100.0%	100.0%	102.5%	100.0%	101.1%	100.0%	
		発電量	18,444.0	18,444.0	18,910.0	18,444.0	18,644.0	18,444.0	
		(kg-CO ₂)	-6,455.4	-6,455.4	-6,618.5	-6,455.4	-6,525.4	-6,455.4	
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ 0.35 kg-CO ₂ /kWh	%	100.0%	99.0%	133.3%	98.0%	317.7%	97.0%	
		消費量	33,232.1	32,899.7	44,310.2	32,567.4	105,570.8	32,235.1	
		(kg-CO ₂)	11,631.2	11,514.9	15,508.6	11,398.6	36,949.8	11,282.3	
		事業規模単位：百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278		
		売上高換算値			48,452.3		124,070.1		
		実績比			-47.3%		-281.0%		
	ガソリンの燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ 2.32 kg-CO ₂ /L	%	100.0%	101.0%	100.2%	102.0%	100.2%	103.0%	
		km/ℓ	18.1	18.2	18.1	18.4	18.1	18.6	
		消費量	14,347.7	14,204.2	14,189.5	14,060.8	12,678.5	13,917.3	
		(kg-CO ₂)	33,286.7	32,953.8	32,919.7	32,621.0	29,414.1	32,288.1	
	ガソリン消費量の削減 (単位：L) 工事グループ 2.32 kg-CO ₂ /L	%	100.0%	99.0%	54.1%	98.0%	113.1%	97.0%	
		消費量	700.8	693.8	379.0	686.8	792.5	679.8	
		(kg-CO ₂)	1,625.9	1,609.6	879.3	1,593.4	1,838.6	1,577.1	
		事業規模単位：百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278		
		売上高換算値			414.4		931.4		
		実績比			40.3%		-35.6%		
	軽油の燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ 2.58 kg-CO ₂ /L	%	100.0%	101.0%	97.5%	102.0%	97.5%	103.0%	
		km/ℓ	9.9	10.0	9.7	10.1	9.7	10.2	
		消費量	2,134.0	2,112.6	2,091.0	2,091.3	1,751.6	2,070.0	
		(kg-CO ₂)	5,505.6	5,450.6	5,394.7	5,395.5	4,519.0	5,340.5	
	軽油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ 2.58 kg-CO ₂ /L	%	100.0%	99.0%	191.9%	98.0%	114.6%	97.0%	
		消費量	76,689.6	75,922.7	147,195.0	75,155.8	87,884.4	74,388.9	
		(kg-CO ₂)	197,859.3	195,880.7	379,763.1	193,902.1	226,741.8	191,923.5	
		事業規模単位：百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278		
		売上高換算値			160,954.7		103,284.5		
		実績比			-112.0%		-37.4%		
	灯油消費量の削減 (単位：L) 総務グループ 2.489 kg-CO ₂ /L	%	100.0%	99.0%	51.7%	98.0%	68.4%	97.0%	
		消費量	105.3	104.3	54.5	103.2	72.0	102.2	
		(kg-CO ₂)	262.2	259.6	135.7	256.9	179.2	254.3	
	灯油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ 2.489 kg-CO ₂ /L	%	100.0%	99.0%	507.1%	98.0%	25.6%	97.0%	
		消費量	156.0	154.4	791.0	152.9	40.0	151.3	
		(kg-CO ₂)	388.3	384.4	1,968.8	380.5	99.6	376.6	
		事業規模単位：百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278		
		売上高換算値			864.9		47.0		
		実績比			-460.1%		69.3%		
	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	%	100.0%	99.0%	166.1%	98.0%	117.5%	97.0%	
		(kg-CO ₂)	280,714.4	277,842.7	466,313.9	274,971.0	329,874.3	272,099.3	
		事業規模単位：百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278		
		売上高換算値			509,904.7		387,678.5		
		実績比			-83.5%		-41.0%		

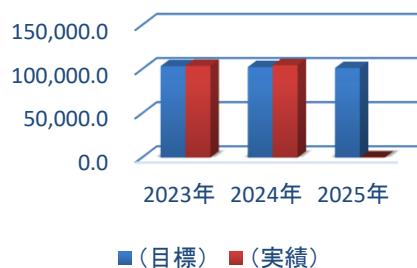
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位: kg) 総務グループ	%	100.0%	99.0%	61.2%	98.0%	63.3%	97.0%	
		(kg/年)	2,965.7	2,936.0	1,815.8	2,906.4	1,876.8	2,876.7	
	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	%	90.0%	90.0%	92.0%	90.0%	86.2%	90.0%	
		(%/年)							
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m ³) 総務グループ	%	100.0%	99.0%	102.7%	98.0%	101.9%	97.0%	
		(m ³ /年)	762.3	754.7	783.0	747.1	777.0	739.5	
	事業所利用水の節水 (単位: m ³) 工事グループ	%	100.0%	99.0%	94.0%	98.0%	468.1%	97.0%	
		(m ³ /年)	810.2	802.1	761.9	794.0	3,792.7	785.9	
		事業規模単位: 百万円	3,853	4,000	3,524	4,000	3,278		
		売上高換算値			833.1		4,457.3		
		実績比			-3.9%		-461.4%		
	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	(件/年)	12	12	12	12	12	12	
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	(回/年)	12	12	12	12	12	12	
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	(%/年)	95.7%	97.0%	100.0%	97.0%	100.0%	97.0%	
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	(回以上/年)	12	12	12	12	12	12	
	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	80.0%に拡大	66.7%	80.0%	72.2%	80.0%	71.9%	80.0%	
IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます。	ペーパーレス化の推進 エコドライブの推進 全グループ	(回/年)	2	2	2	2	2	2	
ZEB建築物の普及への取組みを推進する。	ZEB建築物の推進 営業グループ	(回/年)	12	12	12	12	12	12	

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は、0.35 kg-CO₂/kWh(関西電力2020年度調整後排出係数)とする
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対してのリサイクル率で管理する
- 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する
- グリーン購入は、当面事務用品について取組む
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために笹川5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、スピード)に取り組む
- (実績)列の「%」行は、目標値に対する達成率です。
- 太陽光発電の発電量実績による二酸化炭素排出量削減数値を含んでいます。

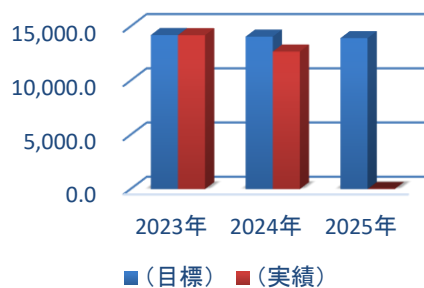
電力消費量(kWh)

総務グループ



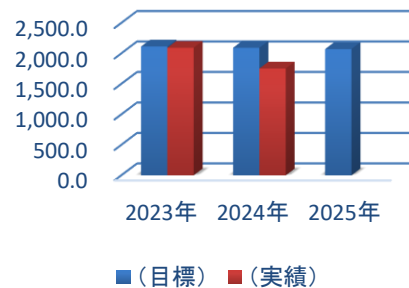
ガソリン消費量(L)

総務グループ



軽油消費量(L)

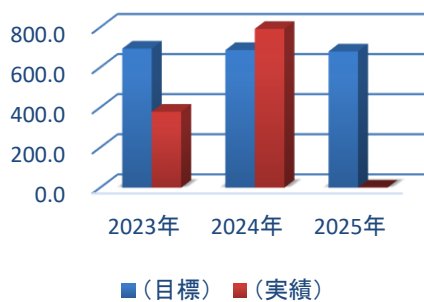
総務グループ



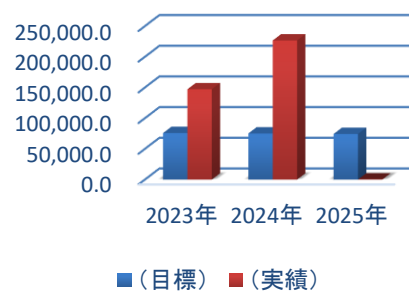
工事グループ



工事グループ

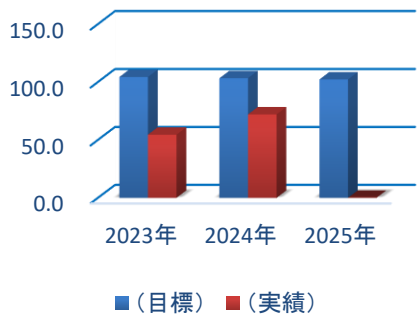


工事グループ

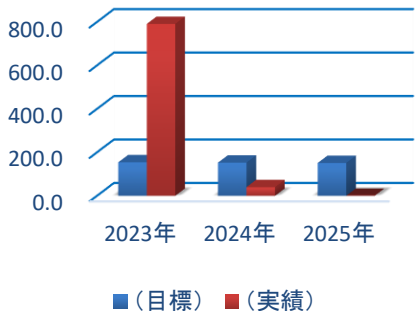


灯油消費量(L)

総務グループ

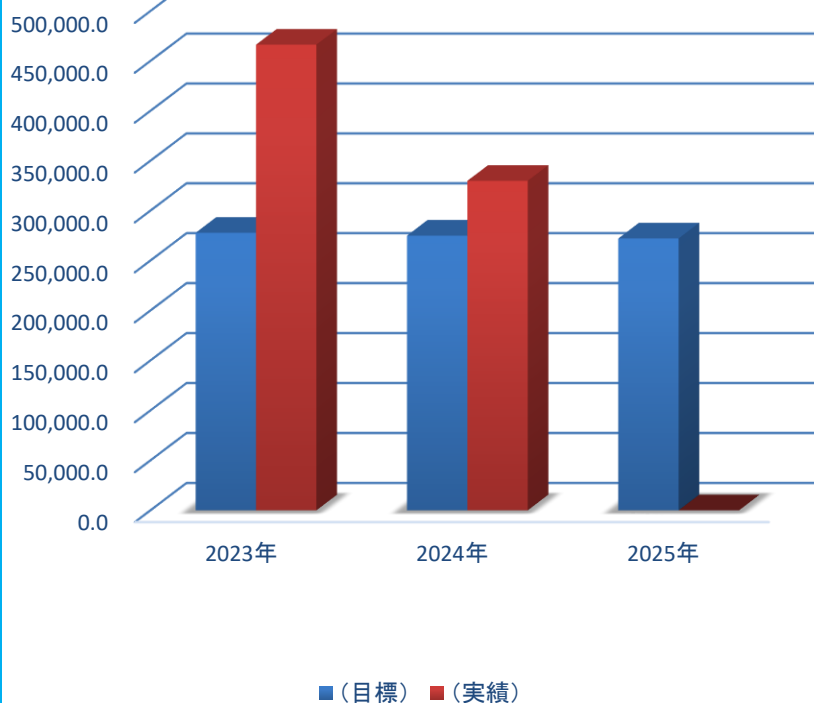


工事グループ



二酸化炭素排出量(kg-CO2)

全社



6 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門				
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ 排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ			
			98.0%	100.1%	△	強化	97.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続
			①不用時の消灯				継続					
			②機械設備・OA機器などのスイッチオフ									
			③エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)									
	④高効率照明の長期計画採用											
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ			
			98.0%	317.7%	×	強化	97.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続
			① 不用時の消灯				継続					
			② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ									
			③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)									
	ガソリンの燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ			
			102.0%	100.2%	△	強化	103.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続
			①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認				継続					
			②暖機運転・アイドリングストップ									
			③環境に配慮した稼働									
	④更新車両の際低燃費車を採用											
	ガソリン消費量の削減 (単位：L) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ			
			98.0%	113.1%	△	強化	97.0%					
		活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続
			①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認				継続					
②暖機運転・アイドリングストップ												
③環境に配慮した稼働												
軽油の燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ				
		102.0%	97.5%	△	強化	103.0%						
	活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続	
		①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認				継続						
		②暖機運転・アイドリングストップ										
		③環境に配慮した稼働										
④更新車両の際低燃費車を採用												
軽油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ				
		98.0%	114.6%	△	強化	97.0%						
	活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続	
		①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認				継続						
		②暖機運転・アイドリングストップ										
		③環境に配慮した稼働										
④更新車両の際低燃費車を採用												
灯油消費量の削減 (単位：L) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ				
		98.0%	68.4%	○	強化	97.0%						
	活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続	
		①ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)										
灯油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ				
		98.0%	25.6%	○	強化	97.0%						
	活動計画	内容				実施状況			次年度	○	継続	
		①ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)										

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門		
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進による排出量の削減 (単位：kg) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ	
			98.0%	63.3%	○	強化	97.0%	基幹システム導入後、紙書類のデータ化などのごみ削減に直結する効果が表れている。		
		活動計画	内容			実施状況	次年度	○		継続 継続 継続
			①資源ごみをリサイクルされる回収業者へ出す							
	②シュレッダーごみの再資源化									
	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
90.0%			86.2%	△	維持	90.0%	年間を通じてコンクリート殻が多く占めているが、改修工事が始まる月は、どうしても分別不可のものが混入するので数値的に悪くなる。			
活動計画		内容			実施状況	次年度	○	継続 継続		
	①建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する									
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m³) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ	
			98.0%	101.9%	△	強化	97.0%	大きな変動幅も無く、安定した数量推移を示した1年間であった。		
		活動計画	内容			評価	次年度	○		継続 継続 継続
			①洗車の水使用量を減らす							
	②水を流しながらの洗い物はしない									
	事業所利用水の節水 (単位：m³) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
			98.0%	468.1%	×	強化	97.0%	施工規模の大きい物件が2件あり、使用量が増加した節水への取り組みはできている。		
		活動計画	内容			評価	次年度	○		継続 継続 継続
			①洗車の水使用量を減らす							
	②水を流しながらの洗い物はしない									
	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
			12回	12回	○	維持	12回	吸着マットを設置する作業所が増えた社員の意識が高くなった。		
		活動計画	内容			実施状況	次年度	○		継続 継続 継続
			①オイル吸着材の設置							
	②適正管理を行う									
	施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ
				12回	12回	○	維持	12回	SDSの管理、化学物質の取扱いに慣れてきて、安全パトロールでの指摘も無くなった。	
			活動計画	内容			実施状況	次年度	○	
①使用する接着剤の有害化学物質を削減する										
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
			97.0%	100.0%	○	維持	97.0%	週1回の作業所周辺の一斉清掃も定着してきた当社の協力会社も積極的に参加しており、活発的な活動となっている。		
		活動計画	内容			実施状況	次年度	○		継続
			①建設現場周辺の清掃を週一回実施する							
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	営業グループ	
			12回	12回	○	維持	12回	1年を通して問題なく活動でき、近隣から感謝の御言葉を励みに継続活動として取り組んでいく。		
		活動計画	内容			実施状況	次年度	○		継続
			①美知メセン他活動に参加する							
	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ	
			80.0%	71.9%	○	維持	80.0%	非対象品か否かが数値を左右する体制は、過去より維持できている。		
		活動計画	内容			実施状況	次年度	○		継続 継続 継続
			①文房具をグリーン商品から選定							
			②同種、同価格のものはグリーン商品を優先購入							
IT活用を推進し、紙と人の移動の減少、エコドライブによる環境負荷の削減に努めます。	ペーパーレス化の推進 エコドライブの推進 全グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	営業グループ	
			2回	2回	○	維持	2回	社内書類のペーパーレス化を拡充することができ、着実に環境負荷に繋がる活動となってきた。		
		活動計画	内容			実施状況	次年度	○		継続 継続
			①ペーパーレスへの提案							
			②エコドライブの推進							

数値目標 ○:達成している。△:未達で連続すると問題の可能性がある。
×:未達で改善の必要がある。

活動計画 ◎:成果につながり良くできている。○:取り組まれていて問題はない。△:取組に問題の可能性がある。
×:できていない(改善の必要がある)

取組の紹介

環境経営方針のもと活動を行い建設業を通じて地域環境保全に配慮する活動を続けています。
県内には日本一の淡水湖(琵琶湖)があり流域の保全にも一層力を入れて活動しています。
建設業の特性ではありますが工事量増加、重機作業の増減に伴い数値目標が大きく上下するが、低炭素社会実現のため既存建物の有効再利用や省エネルギー提案を進め、各作業所においては近隣環境向上の取り組みとして美化活動を行い良い評価を励みにエコアクション21の活動を推進し、より一層省エネルギー工法技術の採用や地域環境保全に貢献できる企業を目指してまいります。

次年度の主な取組内容

これまでの取り組みに加えIT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の低減に努める。

活動の紹介

【玄関設置のモニターでの環境活動の紹介】

社員だけでなく当社に見えられたお客様やテナント様にも当社の取り組みを知っていただくよう、エコ活動に加え、安全、その他催し等の周知等、その時々に応じた情報を発信しています。



太陽光発電状況

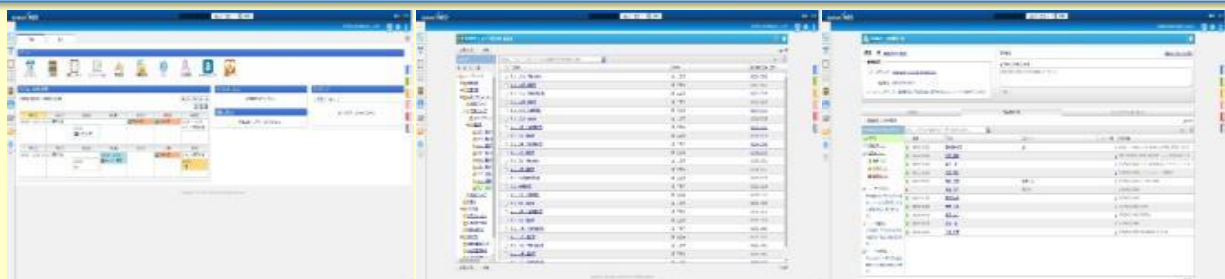
【環境測定の紹介】

解体工事中の振動・騒音測定記録。工事がある日は毎日、午前・午後の二回実施を行いました。住宅街での測定のため近隣の環境活動アピールにも一役かっています。山間部での工事着手前には希少植物調査や河川の透視度観測を実施しまし



【グループウェアでの紙資料削減】

社員への一斉配布等、従来の紙書類では手間と後々のごみが増加するため、データ書類で確認できるものから、グループウェアの配信機能を用いて情報共有を図っています。作業時間の効率性にも一役買っています。



【美知メセナ活動への参加、ひまわり、パンジーの植苗】

本社周辺の清掃並びに、幹線道路の歩道を月に1回清掃しております。夏にはひまわりを植え、秋にはパンジーを植えて歩道と植栽の清掃だけでなく、緑化に努めています。地域の法人様の理解もあり、共同で打出浜地域の植栽活動に力を注いでい



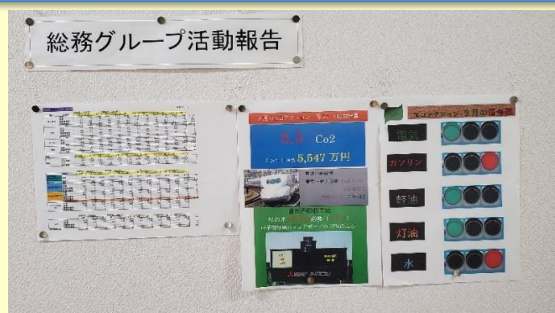
【現場における汚濁水処理】

掘削により生じた濁水は、PH中和機能付き濁水処理機にて、濁度とPH値を放流基準内に抑えてから放流。作業所内から発生する環境変化で、周囲に対し影響が出ないように自主的に努めています。



【環境活動掲示板による活動状況の把握】

環境活動掲示板には、現状の把握ができ、より身近な例えで意識向上に役立てるよう、エコアクション信号と月々に排出する二酸化炭素量が東海道新幹線では何キロの距離を走行する量に値するのか、また月別排出量を森林で吸収した場合の面積を甲子園球場スコアボード面積に例えて、分かりやすく敷居を低くする試みを行っています。



【現場の周辺清掃】

各作業所周辺の清掃活動を週に一度実施しています。周辺が綺麗になるのはもちろん、意識も向上し、作業所内でも整理整頓を含めた5S活動に心掛けています。近隣の皆様にも声をかけていただくこともあります。今期における清掃活動の回数は全作業所合計468回となりました。



【防音シートの活用】

工事中での近隣への生活環境配慮として、防音シートのシートを採用し、生活の妨げを和らげる努力にも取り組みました。



【太陽光を使用したWEBカメラ設置】

作業所現場での限られた人員で効率的に現地パトロールを行うために、現場の状況をリアルタイムで遠隔確認でき



【過積載防止】

車輛搬出時トラックスケールを使用し計測し適正な管理をすることで過積載防止に努めています。



【建設現場での分別収集の実施】

古紙の分別により産廃コストの削減に努めています。



7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、記録	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載しています。		

8 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

2024年10月17日

2024年問題や長時間労働が常態化している建設業界では、規制の範囲内で工事を進めるために人材の確保や最新技術の導入といった工夫や努力が必要となる。

人手不足については、「団塊ジュニア世代」の大量退職も間近に控えていることから、少子高齢化による人手不足は、今後一層深刻になり、資材の高騰：ウクライナ危機による世界的な資材価格の高騰や、記録的な円安による輸入資材価格の高騰による建設資材がどちらも落ち着く気配が見えないためしばらくはこのまま続いていくと予想しています。

2025年4月に建築基準法・省エネ法の大改正が行われ、多くの混乱が生じ確認申請審査業務が停滞することが懸念している。

我々は建設事業を通じて、大きな環境負荷を発生してきたことを理解し、住宅・建築物分野で2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指すことを念頭に置き、環境に配慮した建築物の企画・設計・施工・維持管理で例外なく省エネルギー化、CO2削減など提案、実行する。

また、ZEBプランナー取得によるZEB建築物の普及への取組みを推進していきます。

〔変更の必要性〕

- | | | |
|-------------|--|-------------------------------|
| ・ 環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| ・ 環境経営目標・計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| ・ 実施体制 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |